

－医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。－

使用上の注意改訂のお知らせ

劇薬、処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

2024年3月

5-HT_{1B/1D}受容体作動型片頭痛治療剤

エト립タン錠 20mg 「サンド」

サンド株式会社

東京都港区虎ノ門1-23-1

エト립タン臭化水素酸塩錠

このたび、標記製品の「使用上の注意」を改訂いたしましたので、お知らせ申し上げます。今後のご使用に際しましては、下記内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

【改訂内容（下線部：変更箇所）】

改訂後			改訂前		
10. 相互作用 10.2 併用注意（併用に注意すること）			10. 相互作用 10.2 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
マクロライド系抗生物質 エリスロマイシン、 ジョサマイシン、 クラリスロマイシン [16.7.1 参照]	エリスロマイシンとの併用により、本剤の最高血漿中濃度（Cmax）は2倍、血漿中濃度-時間曲線下面積（AUC）は4倍に増大し、軽度により血圧が上昇した。	本剤は、主として肝代謝酵素チトクローム P450 3A4 により代謝され、代謝酵素阻害薬によりクリアランスが減少する。	マクロライド系抗生物質 エリスロマイシン、 ジョサマイシン、 クラリスロマイシン [16.7.1 参照]	エリスロマイシンとの併用により、本剤の最高血漿中濃度（Cmax）は2倍、血漿中濃度-時間曲線下面積（AUC）は4倍に増大し、軽度により血圧が上昇した。	本剤は、主として肝代謝酵素チトクローム P450 3A4 により代謝され、代謝酵素阻害薬によりクリアランスが減少する。
抗真菌剤 イトラコナゾール	イトラコナゾールとの併用により、本剤の Cmax、AUC が増大し、血圧が上昇するおそれがある。		抗真菌剤 イトラコナゾール	イトラコナゾールとの併用により、本剤の Cmax、AUC が増大し、血圧が上昇するおそれがある。	
カルシウム拮抗剤 ベラパミル [16.7.2 参照]	ベラパミルとの併用により、本剤の Cmax、AUC が増大した。		カルシウム拮抗剤 ベラパミル [16.7.2 参照]	ベラパミルとの併用により、本剤の Cmax、AUC が増大した。	
飲食物 グレープフルーツ ジュース	本剤の作用が増強するおそれがある。		飲食物 グレープフルーツ ジュース	本剤の作用が増強するおそれがある。	
エンシトレルビル マル酸	本剤の血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。	エンシトレルビルマル酸のチトクローム P450 3A4 に対する阻害作用により、本剤の代謝が阻害されることが考えられる。	新設		
変更なし			省略		

【改訂理由】

相互作用相手薬の記載との整合を取るため、記載を追加しました。

改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE 医薬品安全対策情報（DSU）No.325」に掲載されます。

改訂電子添文につきましては医薬品医療機器総合機構ホームページ（<https://www.pmda.go.jp/>）及び弊社ホームページ「医療関係者向け情報」（<https://www.sandoz.jp/products>）に掲載されます。

【資料請求先】

サンド株式会社 カスタマーケアグループ

TEL 0120-982-001 FAX 03-6257-3633

受付時間 9:00~17:00（土・日、祝日及び当社休日を除く）